

よは返事ありやう。今はない。調べる時を要するから其人間の苦勞を省いて出せばよい。

藤巻氏 ハイ、百二十人の總て悪い事はないから、何時は如何してくれませんか。  
と繰返して退出せり。

第九回 會見

午後一時四十五分より

會社側 工場長 笹子 謹氏 主事兼事務部長 竹内十一郎氏  
造機部長 西牧忠治氏 庶務課長 山崎政男氏

職工代表 七森井信隆氏 三原片山五郎氏 神原貞一氏  
ヨ大西武一氏 大窪喜作氏 大野村徳一氏

神原氏 吾々今日の話は依り解雇職工以外の者。代表して来ず。吾々より

ては什ふしむ之を要求する。對受取て貰ひたい。

笹子氏 之を受取る事はよく、のりか、

神原氏 要求を容れて戴く事です。

笹子氏 君達は内輪の人であるから話すが第一工場は損失して送り、要求して

来た者が工場より聴容れたい事は皆を知り居て居るだらう、又要求

して會社が聴容れられないか、聴容れるか位は考へて貰ひたい。今日日本の

國家の前途を考へる事が必要である。

神原氏 併實際悪い解雇せられた者は少数の不都合な者や、何の關係

無い者を解雇と語る不組とては……。

笹子氏

組とは何の

神原氏 組とは此度の争議の連中です、善良なる者、解雇の理由を聞かせり戴

きたら、

笹子氏 解雇者の不都合な行為を吾々が認めたらである、其故各自の各々理

由があつた事である、斯る事は民事訴訟でもするとよい、吾々は将来

かかる悪影響を残すから茲に解雇を断行せん。

神原氏 吾等不理由が工場都合とすれば、其れ迄に此度の代表は之の要求を非